

【 天国への手紙

2022年10月29日放送分 】

アントニオ猪木さんへ

ラジオネーム…猪木信者だけし

僕のスーパースター、アントニオ猪木さん

心よりご冥福をお祈り致します。

猪木さんに対する思いを一筆したためさせて頂きます。

猪木さんを初めてテレビで観たのは

小学1年生の頃だったと思います。

戦う姿がカッコ良く、直ぐのめりこんで行ったような気がします。

負けない、負けない、最後にいつも勝つ猪木さんに

自分を投影していたような気がします。

猪木さんが勝つことによって、自分も何かに勝てるような気がして、
凄く勇気をもらっていました。

タイガージェットシン、スタンハンセン、マスクドスーパースター、
カールゴッチ先生との試合も印象に残っています。

猪木さんのキーロックを持ち上げていたカールゴッチ先生も

スゲ〜な〜と感心したものです。

それからの異種格闘技路線も、猪木さんの壮大なビジョンが成せる技だったのでしょう。

モハメットアリ戦は、習い事(そろばん)を休んでテレビに食い入りました。

世紀の凡戦の裏にあった、マフィアの駆け引きなどきな臭さも合わせて魅了されていきました。

たまに訳の分からないこともゆるし、言うし。

この人大丈夫かなあということも含めて猪木さんの魅力なのでしょう。

僕にとって確かな事は、あなたが僕のスーパースターだったということ。

あなたの戦う姿を見て勇気をもらったということ。

短い挨拶ではありますが、僕から猪木さんへのお礼の言葉と返させて頂きます。

本当に、ありがとうございます。

安らかにお眠り下さい。

リクエスト曲 (イノキボンバイエ かな?)